

# 名古屋港管理組合外郭団体の概要

本組合が出資や出損、職員派遣等をしている外郭団体について、その基本情報を積極的に情報提供することを通じて、外郭団体の透明性を高めるため、「名古屋港管理組合外郭団体の概要」を作成し、本組合ホームページで公表するものです。

令和5年5月

- ・名古屋港管理組合の「外郭団体」は、以下のとおりとしています。

以下の4つのいずれかに該当し、かつ本組合が統一的な観点から必要な指導調整等を行う必要がある団体

- ① 本組合の出資・出損が資本金等の25%以上である団体
- ② 本組合職員を派遣している団体
- ③ 本組合が継続的な負担金等を財政支出している団体
- ④ 本組合職員の役員就任等の人的支援を行っている団体

- ・ 外郭団体の一覧は以下のとおりです。

公益財団法人 名古屋みなと振興財団

公益財団法人 名古屋港緑地保全協会

公益社団法人 名古屋清港会

名古屋港鉄鋼埠頭株式会社

名古屋臨海鉄道株式会社

名古屋港埠頭株式会社

名古屋四日市国際港湾株式会社

## 〈この資料の見方について〉

○収益や費用等については各年度の決算額に、資産や負債については各年度末の状況にそれぞれ基づいて表示しています。また、千円未満の端数は原則として切り上げで表示しています。

○名管（名古屋港管理組合）からの財政支出について

- ・消費税込みで表示しています。
- ・繰越分については、前年度からの繰越分は含め、翌年度への繰越分は除いて表示しています。

# 目 次

## 年次報告

1. 公益財団法人 名古屋みなと振興財団	1
2. 公益財団法人 名古屋港緑地保全協会	3
3. 公益社団法人 名古屋清港会	6
4. 名古屋港鉄鋼埠頭株式会社	8
5. 名古屋臨海鉄道株式会社	9
6. 名古屋港埠頭株式会社	10
7. 名古屋四日市国際港湾株式会社	11

## 参考 経営改善行動計画

1. 公益財団法人 名古屋みなと振興財団	12
2. 公益財団法人 名古屋港緑地保全協会	13
3. 公益社団法人 名古屋清港会	14

(財団法人、社団法人)

# 1 公益財団法人 名古屋みなと振興財団

(令和5年5月1日現在)

設立年月日	昭和46年3月6日	代表者氏名	理事長 河合 伸和		
所在地	名古屋市港区港町1-3				
ホームページアドレス	https://nagoyaaqua.jp				
資本金・基本金	70,000千円	組合出資・出捐金	70,000千円 (100%)		
設立目的	名古屋港における海事思想の高揚と海洋文化の普及に努め、併せて観光事業の振興を図り、名古屋港の発展に寄与することを目的とする。				
主な事業	事業名	令和3年度事業費	事業の概要		
	海事思想及び海洋文化の普及事業	2,442,905千円	名古屋港における海事思想及び海洋文化の普及に関する事業(水族館の管理運営、博物館の管理運営等)		
	賑わいの提供事業	162,038千円	名古屋港の発展を目的としたガーデンふ頭における賑わいの機会と場を提供する事業(ガーデンふ頭臨港緑園の管理運営、ジェティの管理運営等)		
	利便の向上事業	142,369千円	ミュージアムショップ、レストラン、自動販売機等の管理運営		
	船員会館の運営事業	64,939千円	宿泊施設(名古屋船員会館)の管理運営		
役員数		常 勤		非常勤	
	役員数	3人	(うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 2人	11人
	職員数	77人	(うち名管派遣) 12人	(うち名管OB) 3人	-
名管からの財政支出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	委託料	千円 0	千円 0	千円 0	
	補助金及び負担金	77,411	86,454	86,521	
	指定管理料	54,850	830,240	489,224	
	貸付金	0	0	0	
正味財産増減計算書	経常収益	3,223,423	2,473,244	2,789,122	
	経常費用	3,181,361	2,499,765	2,795,136	
	経常増減額	42,062	△ 26,521	△ 6,014	
	正味財産増減額	13,414	△ 28,876	△ 8,834	
貸借対照表	総資産	1,201,543	1,235,569	1,547,717	
	総負債	916,154	979,056	1,299,264	
	正味財産	285,389	256,513	248,453	
経営改善行動計画	次ページ参照				

(本組合所管部署: 港営部港営課関連事業室)

## 現状と課題

- ・当財団は、名古屋港における海事思想の高揚と海洋文化の普及に努め、併せて観光事業の振興を図り、名古屋港の発展に寄与することを目的に設立された団体であり、名古屋港水族館、名古屋港ポートビル等の施設について、指定管理者として円滑な管理運営に努めるとともに、これらの施設を活用した体験プログラム等を実施している。
- ・施設の適正な管理運営にあたっては、継続的な利用者サービスの向上、利用促進、経費縮減、安全・安心の確保、業務の効率化等に取り組んでいる。
- ・名古屋港水族館を始めとする指定管理施設は、景気動向等の影響を受けやすく、また、新型コロナウイルス感染症に伴い、利用者数減少などの影響を受けている。よって、継続的な公益事業の実施や法人運営のため、安定的な収入の確保が課題となっている。
- ・当財団が管理する「名古屋港ポートビル及びガーデンふ頭臨海緑園」は公募により指定管理者を選定する施設であるため、4年ごとに他の事業者と競争し指定管理者に指定されなければ、当該施設を活用した事業の継続が困難な状況である。

## 経営改善方針及び取組の内容

### 【経営改善方針】

名古屋港水族館を始めとしたガーデンふ頭の各施設を一体的に管理運営することで、各施設間の連携を図りつつ、ガーデンふ頭における各種普及事業の実施、観光振興、サービスの向上に努めていくとともに、継続的な法人運営を可能とするための方策について検討を行う。

### 【取組】

- ・施設の魅力向上に向け、展示の充実、イベント・特別展の開催、海事思想の高揚や海洋文化の普及に資する体験プログラムの実施及びwebを活用した情報発信に取り組むとともに、感染症拡大防止対策を進める。
- ・公益事業の安定的な実施と経営の安定化を図るため、水族館内ミュージアムショップ、飲食店等による収入の確保に努めるとともに、公益認定法に拠った弾力的な資金運営について検討を行う。
- ・名古屋港水族館においては、希少生物の種の保存及び研究活動に取り組んでおり、学術交流協定を締結している研究機関と連携しながら繁殖研究に努めていく。
- ・館内アンケート、旅行代理店の聞き取りなどの情報収集を行うとともに、安定的な収入の確保に向け、ガーデンふ頭諸施設の情報等を提供する「名古屋港水族館パートナーシップホテル」の登録促進など、感染症の影響を踏まえた利用促進を図る。
- ・マスメディアに対する積極的なニュースリリースやSNS(フェイスブック、インスタグラム)を活用した広告宣伝の他、ホームページの頻繁な更新を始め、スタッフブログなど多くのお客様に興味をもっていただけるよう情報発信に努め、来港者の増加を図る。

## 数値目標と実績(計画期間:令和2年度～令和4年度)

取組内容	R元年度 実績	R2年度		R3年度		R4年度	
		上:目標値		上:目標値		上:目標値	
		下:実績値		下:実績値		下:実績値	
名古屋港水族館入館者数	2,001,243人	—※1		120万人		150万人	
		922,314人		1,316,628人		2,063,477人	
名古屋港ポートビル(展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ)入館者数	454,869人	—※1		16万人		23万人	
		153,733人		254,631人		382,426人	
営業活動訪問箇所数	369箇所	—※1		370箇所		370箇所	
		0箇所		84箇所		372箇所	
ホームページ閲覧数	29,268,620件	3,000万件		850万件※3		850万件※3	
		9,281,707件※2		10,450,171件		13,017,471件	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標の設定が困難であったため、未設定

※2 令和2年度は、入館者数が前年度比で46.1%であったこと、令和2年5月25日からホームページをリニューアルしたことに伴い、階層を減らしたこと、Google アナリティクス導入によるロボット閲覧の排除及びクッキー(Webサイトにアクセスしたユーザーに関する情報を保存する仕組み)を許可しない閲覧についてはカウントできなくなったため、目標値の3,000万件と実績値の約928万件が大きく乖離した。

※3 令和2年度の実績値を踏まえ、令和3年度及び4年度の目標値の見直しを行った。

## 現状認識

### 【目標の達成状況の検証・外部要因等】

- ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ゴールデンウィークや夏休み期間中に事前予約制による入館制限を実施した。そのため、年度の前半はコロナ禍前と比較して入館者が減少したが、令和4年10月から新型コロナウイルス感染症の水際対策の緩和や全国旅行支援がスタートしたことに伴い、年度の後半は入館者が増加したため、目標値を上回ることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に留意しつつ、令和4年度は目標とした営業訪問活動を実施することができた。
- ・ホームページ閲覧数について、令和4年度は、前年度と比較して入館者数が増加したことのほか、頻繁な更新、スタッフブログなど情報発信に努めたことにより、目標値を上回ることができた。

(財団法人、社団法人)

## 2 公益財団法人 名古屋港緑地保全協会

(令和5年5月1日現在)

設立年月日	昭和59年5月1日	代表者氏名	理事長 福田 健一	
所在地	名古屋市港区港陽一丁目1番69号			
ホームページアドレス	http://www.npgpa.jp/			
資本金・基本金	50,000千円	組合出資・出捐金	50,000千円 (100%)	
設立目的	豊かで快適な港湾環境を創出するため、名古屋港の臨港地区内及びその周辺の緑化を推進し、適切な環境保全に努め、もって名古屋港の発展と親しまれる港づくりに寄与することを目的とする。			
主な事業	事業名	令和3年度事業費	事業の概要	
	緑化推進事業	153,985千円	緑化に関する調査研究事業、緑にふれあう機会と場を提供する事業、レクリエーションの機会と場を提供する事業	
		千円		
		千円		
役員数			常 勤	非常勤
	役員数	1人 (うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 1人	9人
	職員数	7人 (うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 1人	20人
名管からの財政支出		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	委託料	千円 0	千円 0	千円 0
	補助金及び負担金	52,000	49,500	42,500
	指定管理料	113,877	113,663	113,075
	貸付金	0	0	0
正味財産増減計算書	経常収益	176,623	176,573	167,748
	経常費用	186,854	175,134	164,208
	経常増減額	△ 10,232	1,440	3,541
	正味財産増減額	△ 10,257	1,415	3,516
貸借対照表	総資産	108,851	116,912	127,970
	総負債	69,444	76,090	83,633
	正味財産	39,408	40,823	44,338
経営改善行動計画	13ページ参照			

(本組合所管部署: 港営部港営課関連事業室)

### 現状と課題

- ・当協会は、豊かで快適な港湾環境を創出するため、名古屋港の臨港地区内及びその周辺の緑化を推進し、適切な環境保全に努め、もって名古屋港の発展と親しまれる港づくりに寄与することを目的に設立された団体であり、指定管理者として臨港緑地の管理運営に努めるとともに、各施設等を活用した公益目的事業を実施している。
- ・「魅力ある事業の展開」、「安全確保」、「ニーズへの的確な対応」、「サービスの向上」、「効果的な運営」を柱に、適切かつ円滑な各施設の運営及び公益目的事業の実施に努めている。
- ・しかしながら、当協会が管理する施設は、公募により指定管理者を選定する施設であるため、4年ごとに他の事業者と競争し、指定管理者に指定されなければ事業の継続が困難な状況にある。
- ・このため、施設の適正な維持管理、利用者サービスの向上、利用促進に取り組みつつ、経費縮減と事業の充実・拡大を図り、各施設において次期指定管理者として選定されるよう不断の取組が不可欠となっている。

### 経営改善方針及び取組の内容

#### 【経営改善方針】

- ・業務遂行体制や業務マニュアルを随時に見直すことにより、業務の効率化と施設の利用促進を図る。
  - ・緑化推進、緑化振興に係る公益目的事業の充実・拡大に取り組む。
  - ・多様な生物の生息空間となっている港湾緑地を通じた環境事業に新たに取り組む。
  - ・事業の規模を維持しながら、管理費コストを削減する。
- 上記の方針に従い下記の取組を行う。

#### 【取組】

- 緑にふれあう機会と場を提供する事業
  - ・緑化思想の普及、啓発のため、観葉植物及び花鉢を生産し、頒布・貸出を行うとともに花の種子を配布する。
  - ・交流・緑化推進を目的とするとともに施設の活性化を図るため実施している「交流ひろば」、ものづくり体験や交流の機会を増やすことを目的とする「わくわく体験教室」の他、新たな交流事業を展開する。
  - ・緑にふれあう機会として、地元自治体等の主催イベントに参加し、花鉢等を提供するとともに維持管理の過程で発生した剪定枝、伐木及び堆肥の配布を行うことにより緑のリサイクルを推進する。
  - ・学校、地域住民と協働で行う緑化推進事業を実施する。
  - ・当協会が有する知識・技術を活用して、なごや生物多様性センターや大学、NPO法人、地域住民等と協働で行う事業を実現させる。
  - ・県民市民を対象とした講演会、園芸講習会等の実施により、緑化及び環境に関する知識・技術の向上に寄与するとともに、名古屋港内の緑地見学会を通して緑にふれあう場を提供する。
- 緑化に関する調査研究事業
  - ・講習会・研修会等への参加による職員の能力向上促進、緑化及び環境に関する調査の実施、緑化及び環境に関する書籍、研究資料の収集と閲覧を行う。また、調査研究成果は、協会ホームページで公開する。
- レクリエーションの機会と場を提供する事業
  - ・テニス大会、サッカー大会等の企画及び緑地内の各種運動施設の利用促進を通して、レクリエーションの機会と場の提供を行い、地域住民の健康増進、青少年の健全な育成を目指す。
  - ・雑草のない運動広場の実現など、指定管理事業を適正に遂行することにより施設の更なる利用促進を図る。
- 職員の意識改革・資質向上を図るとともに、自己財源の確保に努める。

### 数値目標と実績(計画期間:令和2年度～令和4年度)

取組内容	R元年度 実績	R2年度		R3年度		R4年度	
		上:目標値	下:実績値	上:目標値	下:実績値	上:目標値	下:実績値
		緑の講演会、園芸講習会及び緑地見学会等参加人数	4,023人	3,500人	2,761人	4,000人	4,407人
運動施設等の利用者数 (野球場・運動広場)	183,240人	184,000人	160,890人	185,000人	207,510人	186,000人	209,250人
		13,000人	13,520人	13,500人	15,480人	13,500人	14,192人
運動施設等の利用者数 (テニスコート)	13,344人	8,500人	10,426人	9,000人	12,304人	9,500人	10,619人
		14,500鉢	14,800鉢	15,000鉢	9,860鉢	16,000鉢	9,620鉢
温室栽培成果物生産数	14,920鉢	14,500鉢	14,800鉢	15,000鉢	9,860鉢	16,000鉢	9,620鉢

## 現状認識

### 【目標の達成状況の検証・外部要因等】

「緑の講演会、園芸講習会及び緑地見学会等参加人数」の令和4年度実績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため一部において開催を見送ったため、目標値を下回った。なお、富浜緑地のわくわく体験教室や交流ひろば等は感染防止対策を徹底したうえで通年で開催することができた。

「運動施設等の利用者数(野球場・運動広場)」の令和4年度実績は、野球場、運動広場とも通年で供用できたこと、また、運動広場における平日利用の増加により、目標値を上回った。

「運動施設等の利用者数(テニスコート)」及び「同(サイクリングロード)」の令和4年度実績は、コロナ禍の中、余暇の過ごし方が見直され、屋外レジャーが好まれたと推察されることから、目標値を上回った。

「温室栽培成果物生産数」の令和4年度実績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、花鉢の頒布等を行っている他団体が主催するイベント等の開催が抑制されたことに伴い、苗木等の生産数が制限され、目標値を下回った。

(財団法人、社団法人)

### 3 公益社団法人 名古屋清港会

(令和5年5月1日現在)

設立年月日	昭和34年12月22日	代表者氏名	会長 成田 誠		
所在地	名古屋市港区作倉町1番95号				
ホームページアドレス	<a href="https://www.nagoya-seikokai.or.jp/">https://www.nagoya-seikokai.or.jp/</a>				
資本金・基本金	なし	組合出資・出捐金	なし		
設立目的	名古屋港及びこれに接続する河川において、漂流物、汚物等の除去及び投捨ての防止に関する事業を行い、もって航行船舶の安全及び港内の美化を図り、あわせて公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。				
主な事業	事業名	令和3年度事業費	事業の概要		
	清掃事業	80,456千円	名古屋港内及びこれに接続する河川の清掃、啓蒙宣伝活動		
	大型漂流物除去等事業	26,177千円	名古屋港管理組合からの委託を受け、航行船舶の障害となる大型漂流物の収集作業		
		千円			
		千円			
役員数		常 勤			非常勤
	役員数	1人	(うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 1人	21人
	職員数	8人	(うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 1人	0人
名管からの財政支出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	委託料	千円 26,954	千円 26,678	千円 28,178	
	補助金及び負担金	82,000	64,900	64,900	
	指定管理料	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	
正味財産増減計算書	経常収益	129,313	111,715	113,799	
	経常費用	127,639	115,525	112,147	
	経常増減額	1,674	△ 3,810	1,652	
	正味財産増減額	1,461	△ 2,810	2,039	
貸借対照表	総資産	86,089	61,820	69,724	
	総負債	68,183	46,724	52,589	
	正味財産	17,906	15,096	17,135	
経営改善行動計画	14ページ参照				

(本組合所管部署: 港営部海務課)

## 現状と課題

### 【現状】

本会は、名古屋港及びこれに接続する河川において、漂流物及び汚物等の除去及び投捨の防止に関する事業を行い、もって航行船舶の安全及び港内美化を図り、あわせて公衆衛生の向上に資することを目的に、港湾、河川の掃除、大型漂流物等除去等、目的や場所により4隻(1隻は予備)の清掃船を使用し清掃活動及び水面美化に関する啓発活動を行っている。

### 【課題】

清掃作業は、正規職員の作業員とアルバイトで行っているが、アルバイトについては募集をしても応募は少なく、特殊な作業環境でもあることから、採用できてもすぐ離職することが多いため人員不足の状況は解消できていない。

また、正規職員についても年齢構成に偏りがあり、年齢構成の平準化を図るためにも正規職員の採用が必要となっている。採用に当たっては人件費の増加が見込まれるため、収入増を図る必要がある。

## 経営改善方針及び取組の内容

### 【経営改善方針】

人員不足の解消には、正規職員や長期アルバイトの確保が必要となり、その人材や人件費を確保するためには会員や寄附金等の増加を図っていく必要があるが、本会は、名称や活動内容が一般に認知されていないため、知名度の向上が必要であり、新たな広報活動や啓発活動を積極的に行っていく。

### 【取組】

- ・従来通り、着実に会員の勧誘を続けていく。
- ・広報啓発活動(見学会や各種環境イベント等への参加)の実施回数の増加により、知名度の向上を図る。
- ・名古屋みなと振興財団が名古屋港水族館内に計画している、環境に関する常設展へ参画し、会員の勧誘や一般からの寄附につなげていく。
- ・稼働効率向上のため、アルバイトの募集を継続していくが、正規職員についても年齢構成等を考慮し、正規職員の採用を行っていく。

## 数値目標と実績(計画期間:令和2年度～令和4年度)

取組内容	R元年度 実績	R2年度	R3年度	R4年度
		上:目標値	上:目標値	上:目標値
		下:実績値	下:実績値	下:実績値
会員数(社数)	302	306	309	漸増
		302	301	296
広報・啓発活動	5回※1	6回	7回	漸増
		6回※2	7回※3	5回※4
水族館内の展示	協業方針の検討及び調整	調整・実施	実施	継続
		調整・実施	実施	実施

※1 小学生の見学会、作業船見学会、横断幕掲示(みなと祭り等)、環境デーなごや2019、河川大清掃

※2 横断幕掲示(環境月間等)、環境デーなごや2020、河川大清掃、名古屋港特別警戒出発式(愛知県港警察署主催)、港体験ツアー、高校生フィールド研修(zoom使用)

※3 横断幕掲示(環境月間等)、おうちで環境デーなごや2021(動画配信)、出張!環境デーなごや(パネル展示)、河川大清掃、港体験ツアー、藤前干潟クリーン大作戦協力、海と日本プロジェクト推進パートナー

※4 横断幕掲示(環境月間等)、東築地小見学会、藤前干潟クリーン大作戦協力、河川大清掃、港体験ツアー

### 現状認識

#### 【目標の達成状況の検証・外部要因等】

- ・会員企業の事業所閉鎖、移転、事業見直し等により、会員数が5社減少した。
- ・コロナ感染拡大の状況から環境デーなごや2022への参加を辞退するなど、広報・啓発活動の実績値は減少した。
- ・東築地小学校児童への説明見学会を3年ぶりに実施した(コロナ禍によりR2,R3は取り止め)。

(株式会社)

## 4 名古屋港鉄鋼埠頭株式会社

(令和5年5月1日現在)

設立年月日	昭和39年6月1日	代表者氏名	代表取締役社長 前田 功憲		
所在地	名古屋市港区空見町36番地				
ホームページアドレス	<a href="http://www.ntfsc.jp">http://www.ntfsc.jp</a>				
資本金・基本金	600,000千円	組合出資・出損金	400,000千円 (66.7%)		
設立目的	名古屋港における鋼材流通の合理化を図るため、大型の専用埠頭の管理運営を行う。 埠頭業、倉庫業、とび・土木等工事業及びこれらに附帯関連する一切の事業				
主な事業	事業名	令和3年度営業収益	事業の概要		
	倉庫事業	1,220,577千円	沿岸作業、倉庫作業、運送作業		
	加工請負等事業	859,319千円	鋼材加工		
	施設事業	160,141千円	施設賃貸		
		千円			
役員数		常 勤			非常勤
	役員数	4人	(うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 2人	12人
	職員数	59人	(うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 1人	0人
名管からの財政支出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	委託料	千円 0	千円 0	千円 0	
	補助金及び負担金	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	
損益計算書	経常収益	1,917,557	1,553,311	2,252,067	
	経常費用	1,904,847	1,519,718	2,128,827	
	経常利益(損失)	12,709	33,593	123,240	
	当期利益(損失)	10,198	14,192	84,170	
貸借対照表	総資産	1,975,074	1,983,463	2,303,090	
	総負債	761,631	755,827	990,706	
	純資産	1,213,443	1,227,635	1,312,384	
経営改善計画	第9次中期経営計画 <a href="http://www.ntfsc.jp">http://www.ntfsc.jp</a>				

※損益計算書、貸借対照表の金額は、決算書に合わせて千円未満切捨てで表示しています。

(本組合所管部署: 港営部港営課関連事業室)

(株式会社)

## 5 名古屋臨海鉄道株式会社

(令和5年5月1日現在)

設立年月日	昭和40年1月23日	代表者氏名	代表取締役社長 吉田雄一		
所在地	愛知県名古屋市南区滝春町12番地3				
ホームページアドレス	http://www.meirintetu.co.jp				
資本金・基本金	15億7,310万7,500円	組合出資・出損金	600,000千円(38.1%)		
設立目的	1. 鉄道事業法による貨物の運輸業 2. 日本貨物鉄道株式会社に係わる業務の受託 3. 鉄道運輸車両及び機器の整備ならびに売買業 4. 駐車場の経営 5. 倉庫業 6. 不動産・動産の賃貸業務 7. 前各号に付帯し、または関連する一切の業務				
主な事業	事業名	令和3年度営業収益	事業の概要		
	鉄道事業	1,038,284千円	名古屋港南部臨海工業地帯に発着する鉄道貨物輸送		
	関連事業	192,323千円	貸駐車場、貸倉庫、土地貸付		
		千円			
役員員数			常勤	非常勤	
	役員数	5人	(うち名管派遣)0人	(うち名管OB)1人	12人
	職員数	126人	(うち名管派遣)0人	(うち名管OB)2人	5人
名管からの財政支出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	委託料	千円 0	千円 0	千円 0	
	補助金及び負担金	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
貸借対照表	総資産	2,343,628	2,456,910	2,538,594	
	総負債	556,410	620,558	657,701	
	純資産	1,787,218	1,836,352	1,880,893	
	経営改善計画				

※ 損益計算書及び貸借対照表の金額は、決算書に合わせて千円未満切捨てで表示しています。

(本組合所管部署: 港営部港営課関連事業室)

(株式会社)

## 6 名古屋港埠頭株式会社

(令和5年5月1日現在)

設立年月日	平成24年12月3日	代表者氏名	代表取締役社長 鎌田 裕司		
所在地	名古屋市港区空見町40番地				
ホームページアドレス	http://www.nptc.co.jp				
資本金・基本金	5,567,800千円	組合出資・出資比率	99.56%		
設立目的	(1)外貿コンテナ埠頭及びフェリー埠頭等の建設、賃貸及び管理運営(2)外貿コンテナ埠頭及びフェリー埠頭等の円滑な利用を促進するために必要な施設の建設、賃貸及び管理運営(3)コンテナ蔵置施設等物流施設及び荷役機械等荷役施設の整備、賃貸及び管理運営(4)港湾振興に寄与する集荷・集客事業の企画、実施(5)港湾振興及び港湾施設の強化に寄与するための調査、研究(6)前各号に附帯関連する一切の事業				
主な事業	事業名	令和3年度営業収益	事業の概要		
	コンテナ埠頭事業	4,220,838千円	鍋田ふ頭及び飛島ふ頭におけるコンテナ施設の管理運営		
	フェリー埠頭事業	256,667千円	フェリーターミナルの管理運営		
		千円			
役員数		常 勤			非常勤
	役員数	2人	(うち名管派遣) 1人	(うち名管OB) 1人	7人
	職員数	52人	(うち名管派遣) 35人	(うち名管OB) 7人	0人
名管からの財政支出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	委託料	千円 0	千円 0	千円 0	
	補助金及び負担金	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
損益計算書	貸付金	0	0	0	
	経常収益	4,672,201	4,339,934	4,498,505	
	経常費用	3,520,007	3,396,655	3,423,486	
	経常利益(損失)	1,152,193	943,278	1,075,018	
貸借対照表	当期利益(損失)	829,870	649,572	484,681	
	総資産	14,414,623	14,631,492	14,615,905	
	総負債	3,613,782	3,181,079	2,680,811	
	純資産	10,800,840	11,450,412	11,935,094	
経営改善計画	中期経営計画 <a href="http://www.nptc.co.jp/corporate/pdf/plan_r04_03.pdf">http://www.nptc.co.jp/corporate/pdf/plan_r04_03.pdf</a>				

※損益計算書、貸借対照表の金額は、決算書に合わせて千円未満切捨てで表示しています。

(本組合所管部署：港営部港営課関連事業室)

(株式会社)

## 7 名古屋四日市国際港湾株式会社

(令和5年5月1日現在)

設立年月日	平成29年5月17日	代表者氏名	代表取締役社長 佐藤 博之		
所在地	名古屋市港区港町1番11号				
ホームページアドレス	http://www.nypc.co.jp/				
資本金・基本金	32,000千円	組合出資・出損金	19,500千円 (60.9375%)		
設立目的	1外貿コンテナ埠頭及びフェリー埠頭等の建設、賃貸及び管理運営 2外貿コンテナ埠頭及びフェリー埠頭等の円滑な利用を促進するために必要な施設の建設、賃貸及び管理運営 3コンテナ蔵置施設等物流施設及び荷役機械等荷役施設の整備、賃貸及び管理運営 4港湾振興に寄与する集荷・集客事業の企画、実施 5港湾振興及び港湾施設の強化に寄与するための調査、研究 6前各号に附帯関連する一切の事業				
主な事業	事業名	令和3年度営業収益	事業の概要		
	コンテナ埠頭事業	4,814,635千円	名古屋港及び四日市港におけるコンテナ埠頭の建設、賃貸及び管理運営		
		千円			
		千円			
役員員数		常 勤			非常勤
	役員数	2人	(うち名管派遣) 0人	(うち名管OB) 1人	6人
	職員数	17人	(うち名管派遣) 10人	(うち名管OB) 3人	人
名管からの財政支出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	委託料	千円 156,037	千円 140,476	千円 0	
	補助金及び負担金	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
損益計算書	貸付金	875,700	726,300	693,000	
	経常収益	4,883,177	4,912,914	4,814,680	
	経常費用	4,759,932	4,831,478	4,722,055	
	経常利益(損失)	123,245	81,437	92,625	
貸借対照表	当期利益(損失)	77,751	58,508	59,868	
	総資産	4,498,704	5,282,427	6,045,685	
	総負債	4,383,831	5,109,046	5,812,436	
	純資産	114,873	173,381	233,249	
経営改善計画	中期経営計画 <a href="http://nypc.co.jp/pdf/plan-detail-2021-2023.pdf">http://nypc.co.jp/pdf/plan-detail-2021-2023.pdf</a>				

(本組合所管部署：港営部港営課関連事業室)

○経営改善行動計画(令和2年3月策定(令和4年5月一部改正))

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>当財団は、名古屋港における海事思想の高揚と海洋文化の普及に努め、併せて観光事業の振興を図り、名古屋港の発展に寄与することを目的に設立された団体であり、名古屋港水族館、名古屋港ポートビル等の施設について、指定管理者として円滑な管理運営に努めるとともに、これらの施設を活用した体験プログラム等を実施している。</li> <li>施設の適正な管理運営にあたっては、継続的な利用者サービスの向上、利用促進、経費縮減、安全・安心の確保、業務の効率化等に取り組んでいる。</li> <li>名古屋港水族館を始めとする指定管理施設は、景気動向等の影響を受けやすく、また、新型コロナウイルス感染症に伴い、利用者数減少などの影響を受けている。よって、継続的な公益事業の実施や法人運営のため、安定的な収入の確保が課題となっている。</li> <li>当財団が管理する「名古屋港ポートビル及びガーデンふ頭臨港緑園」は公募により指定管理者を選定する施設であるため、4年ごとに他の事業者と競争し指定管理者に指定されなければ、当該施設を活用した事業の継続が困難な状況である。</li> </ul>

経営改善方針及び取組の内容
<p><b>【経営改善方針】</b> 水族館を始めとしたガーデンふ頭の各施設を一体的に管理運営することで、各施設間の連携を図りつつ、ガーデンふ頭における各種普及事業の実施、観光振興、サービスの向上に努めていくとともに、継続的な法人運営を可能とするための方策について検討を行う。</p> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の魅力向上に向け、展示の充実、イベント・特別展の開催、海事思想の高揚や海洋文化の普及に資する体験プログラムの実施及びwebを活用した情報発信に取り組むとともに、感染症拡大防止対策を進める。</li> <li>公益事業の安定的な実施と経営の安定化を図るため、水族館内ミュージアムショップ、飲食店等による収入の確保に努めるとともに、公益認定法に拠った弾力的な資金運営について検討を行う。</li> <li>名古屋港水族館においては、希少生物の種の保存及び研究活動に取り組んでおり、学術交流協定を締結している研究機関と連携しながら繁殖研究に努めていく。</li> <li>館内アンケート、旅行代理店の聞き取りなどの情報収集を行うとともに、安定的な収入の確保に向け、ガーデンふ頭諸施設の情報等を提供する「名古屋港水族館パートナーシップホテル」の登録促進など、感染症の影響を踏まえた利用促進を図る。</li> <li>マスメディアに対する積極的なニュースリリースやSNS(フェイスブック、インスタグラム)を活用した広告宣伝の他、ホームページの頻繁な更新を始め、スタッフブログなど多くのお客様に興味をもっていただけるよう情報発信に努め、来港者の増加を図る。</li> </ul>

数値目標と実績(計画期間:令和2年度~令和4年度)				
取組内容	R元年度見込	R2年度	R3年度	R4年度
名古屋港水族館入館者数	約200万人	※1	120万人	150万人
名古屋港ポートビル(展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ)入館者数	約45万人		16万人	23万人
営業活動訪問箇所数	約370箇所		370箇所	370箇所
ホームページ閲覧数	2,900万件	3,000万件	850万件※2	850万件※2

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標の設定が困難であったため、未設定

※2 令和2年5月25日からホームページをリニューアルしたことに伴い、階層を減らしたこと、Google アナリティクスの導入によるロボット閲覧の排除及びクッキー(Webサイトにアクセスしたユーザーに関する情報を保存する仕組み)を許可しない閲覧についてはカウントできなくなったため、令和2年度の実績値を踏まえ、令和3年度及び4年度の目標値の見直しを行った。

(参考)公益財団法人 名古屋港緑地保全協会

○経営改善行動計画(令和2年3月策定)

現状と課題
<p>・当協会は、豊かで快適な港湾環境を創出するため、名古屋港の臨港地区内及びその周辺の緑化を推進し、適切な環境保全に努め、もって名古屋港の発展と親しまれる港づくりに寄与することを目的に設立された団体であり、指定管理者として臨港緑地の管理運営に努めるとともに、各施設等を活用した公益目的事業を実施している。</p> <p>・「魅力ある事業の展開」、「安全確保」、「ニーズへの的確な対応」、「サービスの向上」、「効果的な運営」を柱に、適切かつ円滑な各施設の運営及び公益目的事業の実施に努めている。</p> <p>・しかしながら、当協会が管理する施設は、公募により指定管理者を選定する施設であるため、4年ごとに他の事業者と競争し、指定管理者に指定されなければ事業の継続が困難な状況にある。</p> <p>・このため、施設の適正な維持管理、利用者サービスの向上、利用促進に取り組みつつ、経費縮減と事業の充実・拡大を図り、各施設において次期指定管理者として選定されるよう不断の取組が不可欠となっている。</p>

経営改善方針及び取組の内容
<p><b>【経営改善方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務遂行体制や業務マニュアルを随時に見直すことにより、業務の効率化と施設の利用促進を図る。</li> <li>・緑化推進、緑化振興に係る公益目的事業の充実・拡大に取り組む。</li> <li>・多様な生物の生息空間となっている港湾緑地を通した環境事業に新たに取り組む。</li> <li>・事業の規模を維持しながら、管理費コストを削減する。</li> </ul> <p>上記の方針に従い下記の取組を行う。</p> <p><b>【取組】</b></p> <p>1 緑にふれあう機会と場を提供する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化思想の普及、啓発のため、観葉植物及び花鉢を生産し、頒布・貸出を行うとともに花の種子を配布する。</li> <li>・交流・緑化推進を目的とするとともに施設の活性化を図るため実施している「交流ひろば」、ものづくり体験や交流の機会を増やすことを目的とする「わくわく体験教室」の他、新たな交流事業を展開する。</li> <li>・緑にふれあう機会として、地元自治体等の主催イベントに参加し、花鉢等を提供するとともに維持管理の過程で発生した剪定枝、伐木及び堆肥の配布を行うことにより緑のリサイクルを推進する。</li> <li>・学校、地域住民と協働で行う緑化推進事業を実施する。</li> <li>・当協会が有する知識・技術を活用して、なごや生物多様性センターや大学、NPO法人、地域住民等と協働で行う事業を実現させる。</li> <li>・県民市民を対象とした講演会、園芸講習会等の実施により、緑化及び環境に関する知識・技術の向上に寄与するとともに、名古屋港内の緑地見学会を通して緑にふれあう場を提供する。</li> </ul> <p>2 緑化に関する調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会・研修会等への参加による職員の能力向上促進、緑化及び環境に関する調査の実施、緑化及び環境に関する書籍、研究資料の収集と閲覧を行う。また、調査研究成果は、協会ホームページで公開する。</li> </ul> <p>3 レクリエーションの機会と場を提供する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テニス大会、サッカー大会等の企画及び緑地内の各種運動施設の利用促進を通して、レクリエーションの機会と場の提供を行い、地域住民の健康増進、青少年の健全な育成を目指す。</li> <li>・雑草のない運動広場の実現など、指定管理事業を適正に遂行することにより施設の更なる利用促進を図る。</li> </ul> <p>4 職員の意識改革・資質向上を図るとともに、自己財源の確保に努める。</p>

数値目標と実績(計画期間:令和2年度～令和4年度)				
取組内容	R元年度見込	R2年度	R3年度	R4年度
緑の講演会、園芸講習会及び緑地見学会等参加人数	3,000人	3,500人	4,000人	4,500人
運動施設等の利用者数 (野球場・運動広場)	183,000人	184,000人	185,000人	186,000人
運動施設等の利用者数 (テニスコート)	13,000人	13,000人	13,500人	13,500人
運動施設等の利用者数 (サイクリングロード)	8,000人	8,500人	9,000人	9,500人
温室栽培成果物生産数	14,000鉢	14,500鉢	15,000鉢	16,000鉢

(参考)公益社団法人 名古屋清港会

○経営改善行動計画(令和2年3月策定)

現状と課題
<p><b>【現状】</b>                      本会は、名古屋港及びこれに接続する河川において、漂流物及び汚物等の除去及び投捨の防止に関する事業を行い、もって航行船舶の安全及び美化を図り、あわせて公衆衛生の向上に資することを目的に、港湾、河川、大型漂流物等除去等、目的や場所により4隻(1隻は予備)の清掃船を使用し清掃活動及び水面美化に関する啓発活動を行っている。</p> <p><b>【課題】</b>                      清掃作業は、正規職員の作業員とアルバイトで行っているが、アルバイトについては募集をしても応募は少なく、特殊な作業環境でもあることから、採用できてもすぐ離職することが多いため人員不足の状況は解消できていない。                      また、正規職員についても年齢構成に偏りがあり、年齢構成の平準化を図るためにも正規職員の採用が必要となっている。採用に当たっては人件費の増加が見込まれるため、収入増を図る必要がある。</p>

経営改善方針及び取組の内容
<p><b>【経営改善方針】</b>                      人員不足の解消には、正規職員や長期アルバイトの確保が必要となり、その人材や人件費を確保するためには会員や寄附金等の増加を図っていく必要があるが、本会は、名称や活動内容が一般に認知されていないため、知名度の向上が必要であり、新たな広報活動や啓発活動を積極的に行っていく。</p> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来通り、着実に会員の勧誘を続けていく。</li> <li>・広報啓発活動(見学会や各種環境イベント等への参加)の実施回数増加により、知名度の向上を図る。</li> <li>・名古屋みなと振興財団が名古屋港水族館内に計画している、環境に関する常設展へ参画し、会員の勧誘や一般からの寄附につなげていく。</li> <li>・稼働効率向上のため、アルバイトの募集を継続していくが、正規職員についても年齢構成等を考慮し、正規職員の採用を行っていく。</li> </ul>

数値目標と実績(計画期間:令和2年度~令和4年度)				
取組内容	R元年度見込	R2年度	R3年度	R4年度
会員数(社数)	303	306	309	漸増
広報・啓発活動	5回 ※1	6回	7回	漸増
水族館内の展示	協業方策の検討	調整・実施	実施	継続

※1 小学生の見学会、作業船見学会、横断幕掲示(みなと祭り等)、環境デーなごや2019、河川大清掃